

## さくらのつどい

今年度は1年生がいませんでしたが、新しく着任された矢野教頭先生と鈴木先生を歓迎するとともに、新しい縦割り班で交流を深めることを目的に“さくらのつどい”が行われました。

実行委員を中心とした企画・準備・運営が大変素晴らしく、全校生で楽しむことができました。

代表児童の6年渡辺晴子さんの“自分たちのよさを生かしながら”という言葉はまさにその通りであり、全校生みんなが納得する素晴らしいあいさつでした。

一つ一つの思い出をかけがえのない大切なものにしていくことで、子どもたちにとって充実した1年になればと思っております。



## 子どもたちの育て方



元三重県四日市市立常盤小学校長 石井順治さんは次のように述べています。  
「子供の言葉をよく聞かないで、すぐ話をしてしまう教師の学級では、聞ける子どもは育ちません。一部の子供が何かを言うと、すぐそれに教師が言葉を返していくようだと、子供はそのうち聞かなくなるのです。」

ですから、教師は待てる教師、子供と子供のつなぎをつくれる教師にならないといけないのです。【引用 初等教育資料 4月号 2021】

子どもたちが自分の夢をかなえるためには、たくさんのことを吸収していかなければなりません。そのためには、人の話を聞ける力が**必要**だと私も思います。

人の話を聞けることで、自分の考えを整理し、相手に理解してもらうためにどのように話したらよいかを考えながら伝えようとすることを繰り返しながら**コミュニケーション能力**も育っていきます。

保護者の方々も何かとお忙しい日々が続いているかと思いますが、少しでもお子さんが話し始めたらじっくり聞いてあげてください。お子さんの“心”も育っていくと思います。